

2011年度活動報告

① 第12回日本安全保障貿易学会研究大会

第12回日本安全保障貿易学会研究大会は、約60名の参加者を得て2011年9月24日（土）に京都大学で開催された。今回、午前の部自由論題セッションでは「武器輸出三原則の緩和と輸出管理」と「BP（平和関連ビジネス）と企業の役割」の2件の発表があった。前者は本邦の武器輸出三原則の歴史及び今後の展開を展望し、後者はNPOの立場で武器拡散を防止する取り組みの紹介であり、いずれのテーマも大変興味のあるところであった。

午後の部のテーマセッションの第1セッションでは、本邦における輸出管理の最大の興味の一つである北朝鮮制裁に関する諸問題に関し、国連における対応、我が国のこれまでの制裁方針、北朝鮮の外交についての報告があり、活発な議論が交わされた。第2セッションでは、昨年来話題となっている米国の輸出管理改革の概要、輸出管理を米国の法体系の観点から解析した報告、企業の立場から見た米国輸出管理の改革に関する報告があり、これらに関し活発な討議が行われた。

午前及び午後のセッションを通じて、輸出管理の現状や課題について産、学、官の夫々の立場からフロアより多くの質問・意見が出され白熱した議論が展開された。いずれのテーマも、輸出管理のホットな動向を扱っており有益な研究大会であった。



浅田会長 あいさつ

日本安全保障貿易学会 第12回研究大会プログラム

日時：2011年9月24日(土) 10:30～17:30

10:30～12:00 第12回研究大会 自由論題セッション

12:00～13:30 昼食休憩

(12:45～13:25 2011年度総会：学会員のみ)

13:30～15:15 第12回研究大会 第1セッション

15:15～15:45 休憩

15:45～17:30 第12回研究大会 第2セッション

会場：京都大学 法学部 法経済学部本館 法経11番教室

京都市左京区吉田本町

第12回研究大会

・午前の部 自由論題セッション

10:30～12:00

報告者：久保田 ゆかり氏 (大阪大学)

「武器輸出三原則の緩和と輸出管理」

報告者：鬼丸 昌也氏 (NPO テラ・ルネッサンス)

「BP (平和関連ビジネス) と企業の役割」

討論者兼司会：佐藤 丙午氏 (拓殖大学)

・午後の部

第1セッション：「北朝鮮制裁について」

13:30～15:15

報告者：浅田 正彦氏 (京都大学)

「国連による北朝鮮制裁について」

報告者：広実 郁郎氏 (経済産業省)

「日本政府による北朝鮮制裁について」

報告者：道下 徳成氏 (政策研究大学院大学)

「北朝鮮の瀬戸際外交と今後の展望」

討論者兼司会：阪田 恭代氏 (神田外語大学)

休憩 15:15～15:45

第2セッション：「米国の輸出管理制度改革」

15:45～17:30

報告者：佐藤 丙午氏 (拓殖大学)

「米国の輸出管理改革の現状」

報告者：待鳥 聡史氏 (京都大学)

「分割政府下におけるアメリカ輸出管理立法」

報告者：新留 二郎氏（(株) 東芝）

「企業の観点から見た米国の輸出規制改革」

討論者兼司会：青木 節子氏（慶應義塾大学）



会場風景

② 第13回 日本安全保障貿易学会研究大会

第13回日本安全保障貿易学会研究大会は、約70名の参加者を得て2012年3月24日（土）に拓殖大学で開催された。自由論題セッションでは「アメリカ外交と輸出管理—その歴史的展開—」と題し、戦後における米国輸出管理政策の変遷及び、米政府が外交政策のツールとしていかに輸出管理を利用してきたかについて、米国内政治の文脈から検討された。

テーマセッションの第1セッションでは、「イランの核兵器問題と輸出管理」と題し、主にイランの核兵器の問題を取り上げた。中東情勢を俯瞰したイラン情勢のこれまでの経緯、制裁に対するオバマ政権の意図などについて報告の後、北朝鮮の関連も含めたイラン制裁に対する日本の対応等につき報告があった。更にイランの核開発の我が国への影響につき考察した報告があった。イラン制裁については、金融制裁等が強化されている時期で、一般的に、現時点のイランとイスラエルの政治動向の関心が高い。したがって、報告は輸出管理の観点からのみならず、世界情勢の観点からの分析も加えられたものであった。

第2セッションは「中国を軸にした輸出管理システム」を取り上げた。中国軍需産業の調達・拡散の問題の現状が報告され、次いで日本企業としての輸出管理のあるべき姿の考察が発表された。さらに中国の軍事力の詳細な分析、台湾、米国との軍事バランスの解析、中国の軍事力に対する戦略などにつき報告された。中国は広大なマーケットであると同時に輸出においては安全保障上の注意を払う必要があるため、輸出管理の実務者にとっても非常に関心が高いテーマであった。

自由論題セッション、テーマセッションを含め、それぞれ現時点で関心の高いテーマであり、産官学のそれぞれの側面からの分析が報告され、フロアからも活発な質問・意見が出され有益な研究大会であった。



佐藤副会長 挨拶

日本安全保障貿易学会 第13回研究大会プログラム

日時：2012年3月24日（土） 12:15～16:50

12:15～12:50 第13回研究大会 自由論題セッション

13:00～15:00 第13回研究大会 第1セッション

15:10～16:50 第13回研究大会 第2セッション

会場：拓殖大学 文京キャンパス C301教室

第13回研究大会

自由論題セッション

12:15～12:50

報告者：小野 純子氏（一般財団法人 安全保障貿易情報センター）

「アメリカにおける外交政策と輸出管理—その歴史的展開—」

司会兼討論者：佐藤 丙午氏（拓殖大学）

第1セッション：「イランの核兵器問題と輸出管理」 13:00～15:00

報告者：大野 元裕氏（国会議員）

「イランの核兵器と輸出管理～中東情勢について」

報告者：田中 浩一郎氏（(財) 日本エネルギー経済研究所）

「イランの核開発問題の現状と我が国への影響」

報告者：後藤 久典氏（経済産業省）

「迂回輸出について（イラン—北朝鮮との関係）」

司会兼討論者：浅田 正彦氏（京都大学）

第2セッション：「中国を軸にした輸出管理システム」 15:10～16:50

報告者：風間 武彦氏（一般財団法人 安全保障貿易情報センター）

「中国軍需産業：調達・拡散と輸出管理問題」

報告者：新留 二郎氏（(株) 東芝）

「中国の輸出管理制度と日本企業の輸出管理」

報告者：村井 友秀氏（防衛大学校）

「中国の軍事力：Chinese Military Power」

司会兼討論者：村山 裕三氏（同志社大学）



会場風景